

新築美装仕様書

平成 年 月 日現在

有限会社 さくら美装

以下の仕様書は一般的な個人住宅新築工事に適用致します。

1・養生剥ぎ

原則的には、複数階建ての場合は最上階から順に下階へと作業を進める。養生用ベニヤ板、養生紙等は床等に傷を付けないよう、丁寧に剥ぎ取り、適当な場所（または、現場監督官が指示する場所）に保管する。（天候により、保管場所は変わることがある。例えば、晴れている場合は庭先だが、雨の場合は和室の中央部など）契約に養生処分が含まれている場合は、速やかに運搬車で指定場所に処分する。

2・掃除機掛け

粗ゴミを除去した後、掃除機を掛ける。（サッシ枠の溝部も掛ける。）押入れ、戸袋なども脚立を使って奥のほうまで丁寧に掛ける。掃除機でのゴミ除去も基本的には上のほうから下のほうに、順に作業を進める。

3・建具、押入れ、クローゼット

水拭きが基本。場所によっては水拭き後、空拭きをする。高い部分、ドアの裏側、溝部等も丁寧に拭き上げる。

4・窓部

取り外せるサッシ窓はすべて取り外し清掃する。（クロス等に傷を付けないよう養生布をあてがい、清掃に影響の無い箇所に一時立てかけておく。）サッシ枠の溝部は掃除機でゴミを除去したあと、水拭きする。窓ガラス、サッシ部分の付着物（ペンキ、セメント、コーキング等）は特に注意深く除去する。サッシは磨いた後、すぐに、取り付け。

5・床部

巾木部分、コーナー部分など隅々に気を配りながら水拭きをする。床の付着物（養生テープの跡など）は注意深く除去する。水拭きが完全に乾いたあと、専用のワックスを掛ける。

6・和室

鴨居、長押などの木部はすべて水拭きする。（必要に応じ、特殊溶剤を使用して、手垢取り、しみ取り、カビ取りも行う。但し、契約によっては別途費用が発生する可能性がある。）畳は水拭き後、空拭きを行う。

7・天井

基本的には空拭きとする。備え付けの照明器具類も拭きあげる。

8・壁クロス

汚れがついている部分は水拭き又は空拭きで清掃する。コンセント等も拭きあげる。

9・水廻り

器具類を水拭き又は空拭きする。(必要に応じて、シンナー、ベンジン等で汚れをとることもある。)台所のシンクなど水垢が着き易いところは、注意深く拭きあげる。

10・玄関

ドア部分の付着物を除去し、水拭き後空拭きをする。タイル部分は水洗いが基本であるが、場合によっては酸洗いをする。ドアノブの錠前周囲の養生テープも必ず剥がす。

11・外廻り

雨戸、雨樋、土台水切り部分を清掃。玄関ポーチ、犬走部分の水洗いをする。